

様式第4号 (内装材使用面積計算書)

内装材使用面積計算書

事業タイプ ※該当するものに☑	<input checked="" type="checkbox"/> 県内新築タイプ	<input type="checkbox"/> 県外新築タイプ
申請者氏名	岐阜 太郎	

JAS製品の場合以下のJAS区分を選択
 ・機械等級区分
 ・構造用製材 人工乾燥
 ・構造用製材 構造用集成材

部材名称	樹種	規格			1本あたりの面積 (m ²)	数量 (本)	内装材使用面積		ぎふ証明材最終証明者会社名・登録番号	性能表示材等認定工場名・番号又はセンター検査番号	使用箇所 (該当箇所に○)		
		厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)			(m ²)	(m ²)			JAS	床	壁
床板	スギ	15	300	1,800	0.54	80	43.2	43.2	〇〇産業(株) 第05〇〇〇号	〇〇産業(株) 〇〇号	〇		
壁板	ヒノキ	10	300	900	0.27	30	8.1	8.1	〇〇産業(株) 第05〇〇〇号	〇〇産業(株) 〇〇号			〇
					0.00		0.0						
					0.00		0.0						
計							①	②					
うちJAS製品使用量									0.0				
うちぎふ性能表示材使用量									51.3				

「ぎふ証明材」を出荷した最終証明者の「会社名」と「登録番号」を記載

「性能表示材等」を使用した場合「認定工場名」と「認定番号」又は「センター検査番号」を記載

補助の対象となる内装仕上げ材の納品書等の記載面積 ※面積計算根拠(実際に使用した量)でなくてよい

◆補助対象面積計算書

	補助対象面積(m ²)
①内装材使用面積	51.3
②①のうち、性能表示材等加算面積	51.3

- 注) 1 県産材の証明となるもの(岐阜証明材推進制度による伝票の写し等)を5年間保管すること
 2 面積は、1本あたりの面積について少数点以下第3位を四捨五入し第2位まで求め、1本あたりの面積に数量(枚)を掛けたものを少数第1位まで記載すること(第2位切り捨て)
 3 部材名・樹種・規格が同じであっても「ぎふ性能表示材」と「JAS製品」を混合して記載しないで、分けて別の行に記載すること
 4 性能表示材等がJAS製品の場合は、性能表示認定工場のJAS欄にJAS製品の区分を記入すること